



アートが美術館や画廊を出て、新しい空間に向き合うことで、新しいアートの形を求めてきた。愛知県の足助町の病院でスタートした活動はハンセン病の島、瀬戸内の大島青松園に向かった。その表現の系譜をたどる旅の話を高橋伸行さんからお聞きする。

司会 鈴木 敏春(美術批評/NPO愛知アート・コレクティブ)

2016年11月25日[金]

18時から19時30分まで(開場17時30分)

会場 株式会社三井住友銀行SMBCパーク 栄 名古屋市中区錦3-25-20

定員 70名(入場無料)

※申込不要、先着順。定員に達した場合は、入場をお断りすることがあります。

主催:第16回障害者芸術・文化祭実行委員会

後援:名古屋造形大学

協力:NPO愛知アート・コレクティブ

株式会社三井住友銀行SMBCパーク 栄

【お問い合わせ】

第16回 障害者芸術・文化祭実行委員会事務局

(愛知県健康福祉部障害福祉課内)

〒460-8501 名古屋市中区三の丸3-1-2

電話 052-954-6697 FAX 052-954-6920

E-mail powerofart@pref.aichi.lg.jp



【アクセス】地下鉄東山線・名城線「栄」下車9番出口すぐ
名鉄瀬戸線「栄町」駅下車 徒歩3分

やさしい美術

国立療養所大島青松園での取り組み

高橋伸行氏(名古屋造形大学教授)を講師にむかえてのトークイベント



第16回
全国障害者芸術・文化祭
あいち大会

平成 28年 12月 9日(金)～11日(日)
[美術・文芸作品展は12月3日(土)～11日(日)]



高橋 伸行
(たかはしのぶゆき)

アーティスト 「やさしい美術」プロジェクトディレクター

1967年愛知県生まれ。愛知県立芸術大学美術研究科大学院彫刻科修了。2002年に「やさしい美術」を設立。これまでに療養型病院や急性期病院のほか、緩和ケア病棟や老人福祉施設などでプロジェクトを展開する。水と土の芸術祭2015では、新潟水俣病に深く関わる地蔵と共に阿賀野川を遡る旅を敢行し、作品「旅地蔵—阿賀をゆく—」を発表した。瀬戸内国際芸術祭では、国立(ハンセン病)療養所大島青松園にてガイドツアーとカフェ、ギャラリーが連携する取り組み「つながりの家」を実施し、2013年度グッドデザイン賞受賞。

